

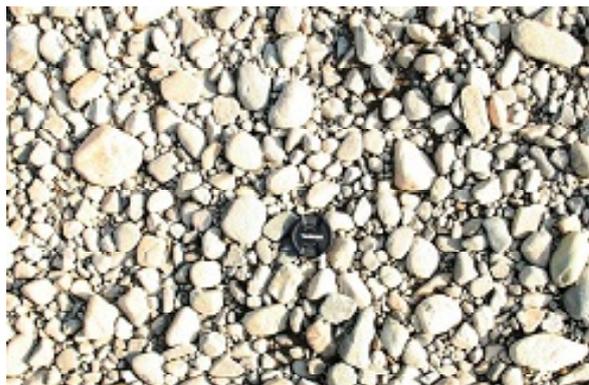
国吉大橋上

国吉大橋上流の大源寺付近の小矢部川右岸側河川敷は、小矢部川河川敷で「流れる水のはたらき」を学習するには最も下流側になります。ここは、駐車スペースや河川敷が広く、整列や観察に十分な広さがあります。また、ゆるいカーブとなっていて、流速のちがいや侵食、堆積のちがいがわかりやすいうえに、川はゆるやかに深くなっているため、つりざおとペットボトルを使えば、流れの速さのちがいも比較的安全に行えます。ここより下流は川は完全に川原の特徴を示します。流れがゆるくなるうえ、水深も深くなり、降りて観察できる川原がほとんどなくなります。なお、この場所の礫はほとんどが流紋岩からなり、岩石の観察にはやや種類が乏しく面白みに欠けるようです。

観察対象	河川中流部～下流部
観察できる人数制限	特になし
流速の実験の安全性	比較的安全にできる
バス駐車スペース	あり
トイレ	なし



礫の種類



川原へのアクセス道



川原の状態



対岸に見える地層

